



常陸大宮市総合計画

ひたちおおみや未来創造ビジョン

基本構想・基本計画

概要版

人が輝き 安心、快適で活力と誇りあふれるまち
「住みたい」「育みたい」「来たい」まちづくり





常陸大宮市長
鈴木 定幸

市長あいさつ

市では、総合計画「ひたちおおみや未来創造ビジョン」の基本構想を改訂し、また令和4年度を初年度とする基本計画である「ひたちおおみや未来創造アクションプラン」を策定しました。

人口減少対策を本市における最重要課題と捉え、効果的・効率的、かつスピード感をもって各種施策を実践してまいりますので、市民の皆様には引き続き協働によるまちづくりに、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

市章



平成17年3月制定

市標



平成28年6月制定

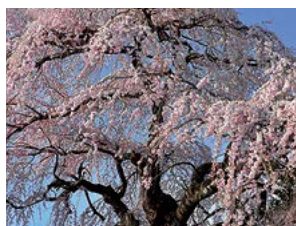
マスコットキャラクター



市の花 [ばら]



市の木 [さくら]



市の鳥 [かわせみ]



平成19年8月制定

市の魚 [あゆ]



平成26年6月制定

総合計画とは

- 長期的な視点を持ったまちづくりの指針となる計画です。
- 本市が目指す将来像及び進むべき方向性を明確にすることで、その実現に向け市民と行政が目標を共有し、まちづくりに取り組むための計画とするとともに、市政運営の指針となり、分野別のまちづくりを進めるうえでの最上位の指針としての役割を果たします。



計画の名称と構成及び期間

- 総合計画は、「基本構想」、「基本計画」、「重点事業計画」の3つから構成されます。

①基本構想（令和 32 年頃を展望）

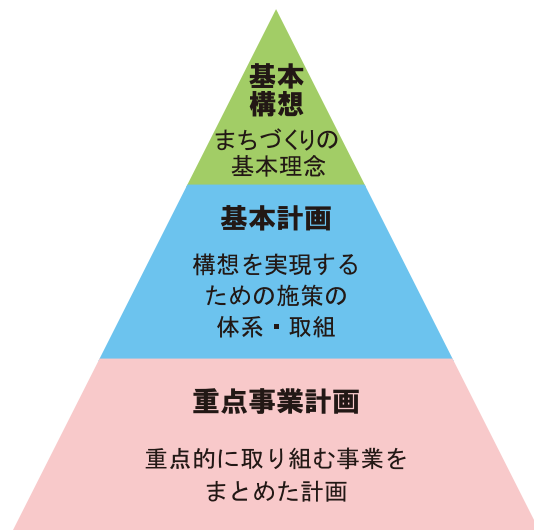
目指すべき市の将来像やまちづくりの基本的な理念などを掲げるとともに、その実現に向けた施策の大綱を設定した構想です。

②基本計画（令和 4～8 年度の 5 年間）

施策の大綱に基づいて、市が推進すべき個別施策の体系や取組を具体的に設定した計画です。

③重点事業計画（3 年間、毎年度見直し）

基本計画で定めた施策を実現するための具体的な事業の中から、重点的に取り組む事業を取りまとめた計画です。



● 計画の期間

	H29～R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14～
基本構想	→											
基本計画	→	→					→					→
重点事業計画	→	→		→		→		→		→		→

基本構想

市の将来像

人が輝き 安心・快適で 活力と誇りあふれるまち

一人ひとりが自分らしく輝き、誰もが安心して快適に暮らせ、いつまでも活力にあふれ、誇りを持ち続けることができるまちを目指します。

市民・企業・地域・行政というそれぞれのまちづくりの主体が一体となって協働し、「ふるさと常陸大宮」を次の世代、そして未来へとつないでいくまちづくりを進めます。

まちづくりの基本理念

〔郷育立市の考え〕

「人づくり」は「まちづくり」
故郷を「伝える」・「つなぐ」・「つくる」

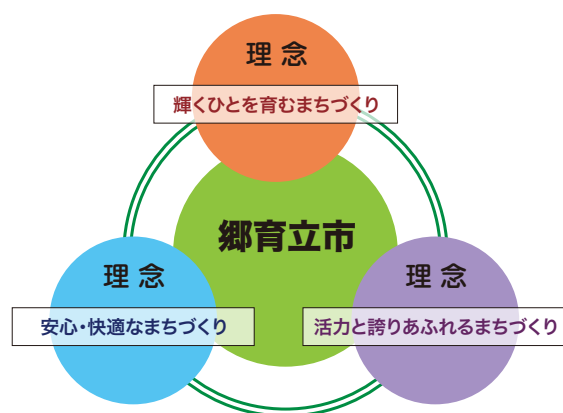
〔まちづくりの方向性〕

将来も住み続けたいと思うまち

- ▶ 次世代の子どもたちが健やかに成長できるまちづくりが必要
- ▶ その子どもたちが社会で活躍する時期（令和 32 年頃）を見据えたまちづくり

〔まちづくりの基本理念〕

「輝くひとを育むまちづくり」
「安心・快適なまちづくり」
「活力と誇りあふれるまちづくり」



施策の大綱（基本理念に沿って推進する分野別の施策の枠組み）

将来像の実現に向け、郷育立市と 3 つの基本理念を柱として、次の 5 つの施策の大綱で取組を進めます。

1 未来を拓き、自分らしく輝くひとを育むまち
(子ども子育て・教育・生涯学習)

2 だれもが安心して暮らせるまち
(医療・福祉・防災)

3 自然と調和した快適で安全なまち
(土地利用・社会基盤・環境・安全対策)

4 みんなでつくる協働のまち
(自治・交流・連携)

5 魅力ある資源を生かした活力と誇りあふれるまち
(産業・観光)



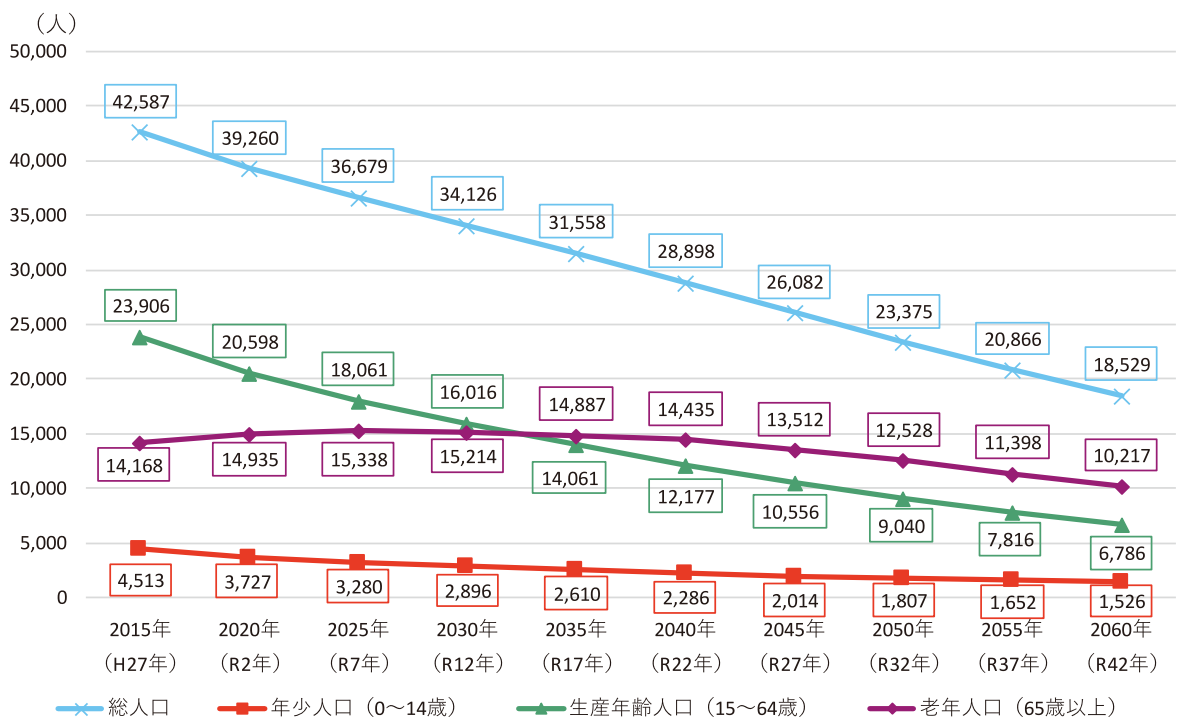
市の人口の見通し

●人口構造のバランスを整えることを基本に、次のとおり目指すべき将来の方向性を定めました。

- ①進学・就職で転出する（した）人材のUターン促進
- ②女性を中心とした結婚・子育て世代の移住・定住促進
- ③合計特殊出生率の向上と出生数減少の抑制

●これらの目指すべき将来の方向性の内容と関連性を考慮し、2060年（令和42年）までに「合計特殊出生率2.07」を目指すことで、人口構造のバランスが安定し、2060年（令和42年）の総人口約18,500人を本市の人口の将来展望として実現を目指します。

●この将来展望によると、基本構想において展望する2050年（令和32年）頃の人口は、概ね23,400人となる見通しです。



出典：常陸大宮市人口ビジョン



人口の将来展望を実現させるためには、進学・就職で転出した人材がUターンしやすいように雇用環境を整備すること、結婚・子育て世代に移住・定住先として選んでもらえる環境を整備すること、結婚して安心して出産・子育てできる環境を整備することなどが大切です。

土地利用

〔土地利用ゾーン〕

①都市形成ゾーン

定住を支える住宅地、暮らしの利便性を高める商業地、生活関連サービス施設用地などの都市的な土地利用を促進するとともに、道路や公園、美しい街並などの誘導によって、魅力ある都市空間・生活環境の形成を図ります。

②農業集落ゾーン

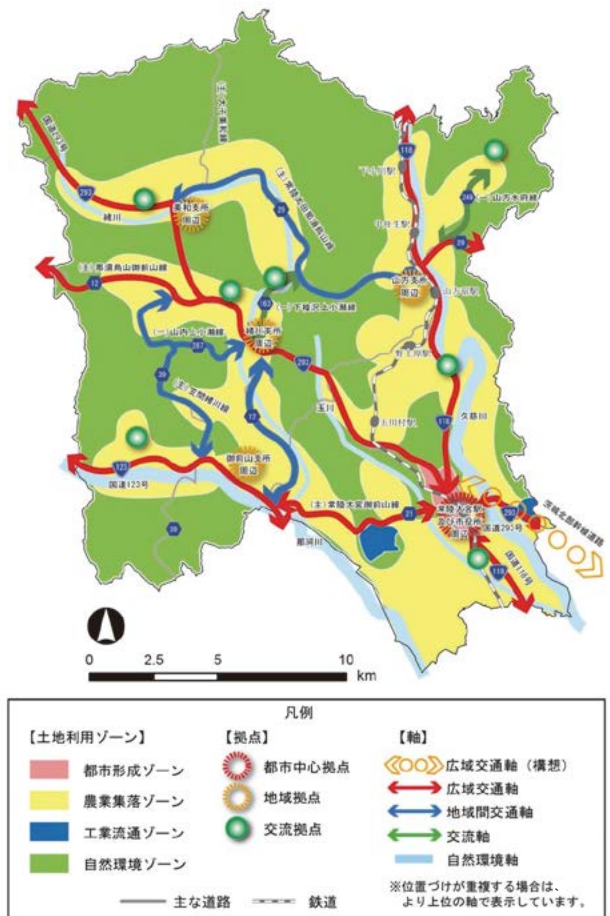
周辺の自然環境や農地などの維持・保全に配慮しながら、公共交通や生活道路の充実などによって、良好な集落環境、営農環境の維持を図ります。

③工業流通ゾーン

既に立地している企業の操業環境の維持・向上や新たな企業誘致を図ります。また、新たな工業団地に適した用地の調査などを行い、地域経済を支える基盤としての維持・整備を図ります。

④自然環境ゾーン

広範囲に広がる森林の区域は、適切な森林施業や災害防止策などにより、環境の保全を行うとともに、市民や来訪者の余暇やレクリエーション、自然学習、レクリエーションの場として活用し、自然豊かな環境の維持と有効活用を図ります。



〔拠点〕

①都市中心拠点

行政、医療・福祉、商業、情報・サービスなどの多様な機能が集積された拠点として、基盤施設の整備や景観形成を図り、魅力ある市街地の形成を推進します。

②地域拠点

各地域の中心に「小さな拠点」として、公共施設や店舗、福祉施設などの集積を図り、活力ある地域拠点の形成・充実を図ります。

③交流拠点

観光物産施設や温泉温浴施設、商業施設などにおいて、市民や観光客らとの交流を通じ、本市の魅力を発信する交流拠点として活用するとともに、各施設の充実を図ります。

〔交通網の構築〕

各拠点や周辺都市を効果的・効率的に結び、利便性を向上させるとともに、大規模災害時にも強靱な交通網の構築や持続可能な公共交通体系の充実を図ります。

〔自然環境との調和〕

水辺空間については、沿線の道路とも連携し、水とふれあいながら回遊できる空間として、自然環境との調和を図ります。

人口流出を防ぐダム（政策）の構築と実践

- 政策プロジェクトは、基本構想で掲げた目指すべき将来像の実現に向け、戦略的な視点に立ち、今後5年間に重点的・優先的に取り組む施策などについて、施策体系の枠組みを超え、横断的かつ総合的に進めることにより、相乗的な効果を発揮させ、その効果が期待できるものを位置づける取組です。
- 本市の最重要課題となっている人口減少対策について、政策プロジェクトのテーマとして設定し、「第2期常陸大宮市創生総合戦略」などとの連動を図りつつ、本市の特性や優位性を最大限に活用しながら、政策を推進します。

戦略1

常陸大宮市に「住みたい」 ～魅力あるまちづくり～

子育て世代をはじめ、全ての市民が暮らしやすく、住みたいと思える、コンパクトで便利なまちづくりを進めるとともに、移住・定住の地として本市が選ばれるための取組を推進します。



常陸大宮駅イメージ

戦略2

常陸大宮市で「育てたい」 ～子育て支援と教育の充実～

子ども達が健全に成長し、勉強やスポーツに親しみ、幸せで将来に夢を持てるように、教育環境の充実を図るとともに、子育て中の保護者に係る経済的支援や、仕事と子育てを両立するための支援などの子育てサポートの取組を推進します。



放課後児童クラブ

戦略3

常陸大宮市に「来たい」 ～新たな魅力の創出と磨き上げ～

本市には「那珂川」・「久慈川」の二大河川や本市北部に広がる美しい里山風景などの豊かな自然をはじめ、積み重ねてきた歴史や伝統文化など、多くの魅力を有しています。これらの魅力や地域資源を生かし、産業や観光の振興、交流人口や関係人口の創出・拡大のための取組を推進します。



御前山ダム



常陸大宮市総合計画
ひたちおおみや未来創造ビジョン

詳しくは、常陸大宮市ホームページをご覧ください。

常陸大宮市総合計画

検索

<https://www.city.hitachiomiya.lg.jp>

常陸大宮市役所政策審議室企画政策課

〒319-2292 常陸大宮市中富町 3135-6 TEL 0295-52-1111

